

① 長崎開港

ポルトガル船と大波止

長崎港の周りには、鎌倉時代から長崎氏や戸町氏、浦上氏、深堀氏、福田氏といった武士がおり、館を構えそのそばに山城を築いてにらみ合っていました。

戦国時代になり、日本へキリスト教の布教に来ていたイエズス会は、彼らが乗ってくるポルトガルの貿易船が安全に停泊できる港を探していました。長崎港は奥深く周りを山に囲まれ波が静かだとわかり、ここを治めていたキリシタン大名大村純忠の許しを得て、1571(元亀2)年に初めてポルトガル船が入港しました(長崎開港)。マカオから来たポルトガル船は、中国製生糸や武器などを運び、江戸町の海岸近くに停泊し貿易品を小船で積み下ろしました。代わりに銀などを持って帰りました。



クイズ 1-1

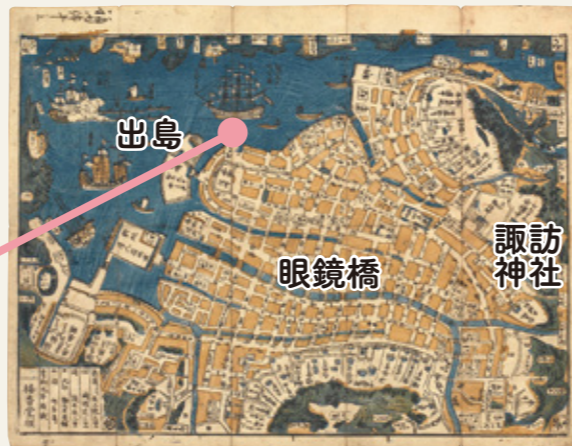
ポルトガル人から習った料理で今では日本料理の代表的なものは何?

- ①すきやき ②すし ③てんぷら



南蛮人來朝之図(左隻) 長崎歴史文化博物館蔵

この船はどこから来たのかな?
中国のマカオです。



【大波止】

江戸時代の船着き場
ポルトガル船もこの沖に泊っていました。

カピタンは、ポルトガル船に乗ってやってきた貿易の責任者。立派な服を着ています。

黒い服を着ているのは、誰だろう?
キリスト教の宣教師です。



南蛮人來朝之図(右隻) 長崎歴史文化博物館蔵

大村純忠

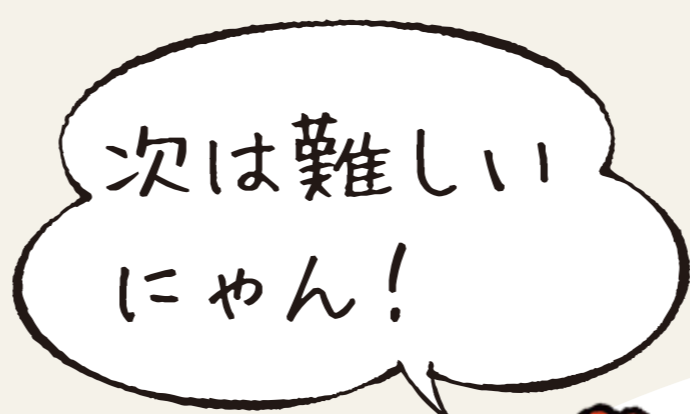
大村市周辺や西彼杵半島を治めた戦国大名で日本初のキリシタン大名となりました。ポルトガル船との貿易を行ったり、領民にキリスト教の洗礼を受けさせたりするなど積極的に西洋の文化を受け入れ、周りの戦国大名との争いを勝ち抜こうとしました。



大村純忠像 (『カルデイル日本殉教精華』所収) 長崎歴史文化博物館蔵

ルイス・フロイス

ポルトガル出身でキリスト教の宣教師として日本に来ました。京都で織田信長の協力を得て布教活動をしたり、日本各地での布教の様子を記録したりしました。最後は長崎で亡くなっています。



クイズ 1-2

ポルトガル人が輸入したヨーロッパの着物は何?

- ①Gパン ②合羽 ③スカート



豆知識

戦国時代に長崎氏の館があったところは、江戸時代になり長崎村庄屋森田家の屋敷(現在の桜馬場中学校)になったと言われています。その奥の焼山は、長崎氏の城の跡と考えられています。浦上氏の館は、江戸時代に浦上山里村庄屋高谷家の屋敷(現在の浦上天主堂)になり、城ノ平古城跡(本尾公園付近)は、その浦上氏の城跡と考えられています。

《クイズの答え》 1-1.③てんぷら 1-2.②合羽